

保護者様

名古屋市立高蔵小学校長
阿部路代

学校評価（高蔵教育アンケート）の結果の報告について

保護者の皆様には、アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。

以下に学校評価の結果を報告いたします。今回の結果を分析し、その成果や課題を明らかにして新たな工夫・改善を加え、次年度の学校教育に生かしていきます。

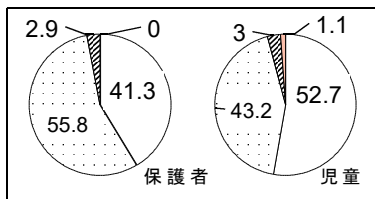
今回のアンケートは、172人の保護者の皆様から回答をいただきました（全校児童277人、回答率62.1%）。紙ベースでアンケートを実施していた一昨年までは、90%以上の回答率でしたが、ウェブ回答となった昨年度より75.5%、今年度62.1%と年々減少傾向にあります。原因として、お子様一人につき1回答をお願いしていることが考えられます。今後、世帯での回答を検討し、全保護者の皆様からご意見をいただけるよう、努めて参ります。



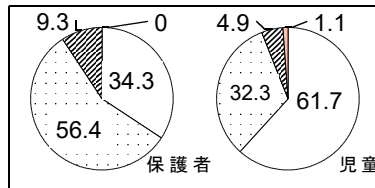
それぞれの設問に対して、右の4つの選択肢から最も近いと思われるものを選んでいただきました（グラフ中の数字の単位は%です）。



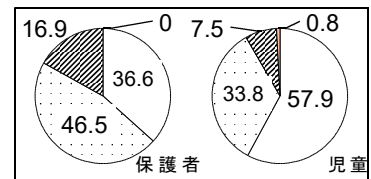
Q1 お子様は、思いやりのある言葉掛けや行動を意識しながら、友達と楽しく仲良く学校生活を送っている。



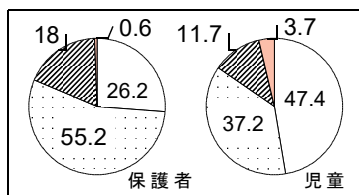
Q2 お子様は、「おはようございます」「さようなら」などのあいさつを通して、あいさつ運動に取り組んでいる。



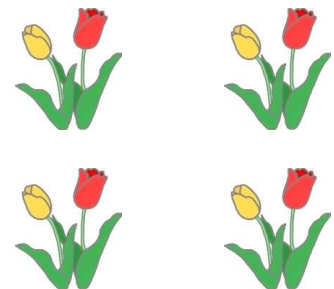
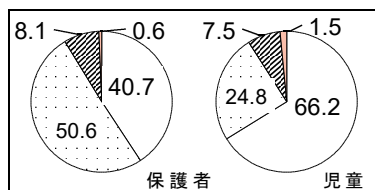
Q3 お子様は、タブレットを有効に活用したり、友達と話し合ったりして、自ら進んで学習している。



Q4 お子様は、保護者や地域とのつながり意識しながら、花いっぱい運動に取り組んでいる。



Q5 お子様は、体力向上に励んだり、健康に十分に気を付けたりしながら生活している。



Q1・5について

これらの項目では、「よくあてはまる」または「ややあてはまる」という回答が、児童保護者ともに90%以上を占めており、おおむね良好な状態であると考えます。現状を維持できるよう、引き続き働き掛けていきます。



【あいさつボランティアの活動の様子】

Q2について

あいさつについては、「あまりあてはまらない」という保護者の回答が、児童の2倍程度多くなっています。これは、学校でのあいさつ運動がまだ地域へと広がっていないことが原因だと考えられます。教職員や保護者、地域が児童とともにあいさつする意識を高めることが大切だと考えています。

Q3について

学習については、タブレットの導入や授業スタイルの変化などを通して、児童は自ら進んで学習に取り組んでいるという思いが高まり続けています。9月に策定された「ナゴヤ学びのコンパス」では、子どもを取り巻く全ての大人が「子どもは有能な学び手」と理解し、「子ども中心の学び」に伴走することを大切にしています。自律して学び続ける児童がどのような姿なのか、保護者の皆様と共通理解を図りながら、児童の力を共に伸ばしていきたいと思えます。

Q4について

48年続けてきた花いっぱい運動の原点に立ち返り、今年度も学校努力点研究として取り組みました。保護者や地域の方々のご協力のもと、地域花壇の定植や世話をし、学校・学年だよりを通して、その様子を発信しました。今後は、保護者や地域の方々とのつながりを児童がより強く意識できるよう、共に活動する場を充実していきたいと思えます。



【保護者や地域の方と土作りをする様子】

<その他のご意見> アンケートには、以下のようなご意見もいただきました。



冬季の体育では、運動用長ズボンの着用を認めていただきたいです。

- 学校だより12月号に防寒対策として、「学習に取り組みやすい上着」「保温性の高い下着」等の工夫をお願いしました。運動用長ズボンの着用もこれに該当するものと考えますので、着用していただければと思います。



クラス活動や学校行事について、毎回楽しみながら友達と参加している様子が伺えます。△年生ではこうしたいと目標を教えてくださいようになり、今後も引き続き積極的に取り組んでもらえたら嬉しいです。

- 自ら目標をもち、主体的に学ぶ児童の様子を評価いただき、大変嬉しく思います。これからも「子ども中心の学び」を一層充実していきます。

※ その他、PTAの運営や、バザーについてもご意見をいただきました。PTAでご検討いただくよう、お願いしました。

ご協力、ありがとうございました。